

令和 7 年度 8 月期

総合学力試験

標準的参考文献

神戸大学大学院
経営学研究科

第 1 群

経 営 管 理

- (1) Burrell, G. and G. Morgan (1979), *Sociological Paradigms and Organisational Analysis*, Heinemann. (野中郁次郎・金井一頼・鎌田伸一訳『組織理論のパラダイム』千倉書房, 1986 年)
- (2) Douma, S. and Schreuder, H. (2002), *Economic Approaches to Organizations, 3rd Edition*, Pearson. (丹沢安治・岡田和秀・渡部直樹・菊澤研宗・久保知一・石川伊吹・北島啓嗣訳『組織の経済学入門 (第 3 版)』文眞堂, 2007 年.)
- (3) Latham, G. (2007), *Work Motivation: History, Theory, Research and Practice*, Sage Publication. (依田卓巳訳・金井壽宏監訳『ワーク・モチベーション』NTT 出版, 2009 年.)
- (4) Miner, J. B. (2015), *Organizational Behavior 1: Essential Theories of Motivation and Leadership*, Routledge.
- (5) Perrow, C. (1972), *Complex Organizations: A Critical Essay*, Foresman and Company. (佐藤慶幸訳『現代組織論批判』早稲田大学出版部, 1978 年.)
- (6) Schein, E. H. (1980), *Organizational Psychology, 3rd Edition*, Prentice-Hall. (松井資夫訳『新訂 現代心理学入門 組織心理学 (原書第 3 版)』岩波書店, 1981 年.)
- (7) Scott, R. S. (1995), *Institutions and Organizations*, Sage Publications. (河野昭三・板橋慶明訳『制度と組織』税務経理協会, 1998 年.)

経 営 制 度

- (1) 上林憲雄・庭本佳子編著『ベーシックプラス人的資源管理(第 2 版)』中央経済社, 2025 年。
- (2) 上林憲雄・厨子直之・森田雅也『経験から学ぶ人的資源管理(第 3 版)』有斐閣, 2025 年。
- (3) 上林憲雄・庭本佳子 編著『経営組織入門』文眞堂, 2020 年, 第 1 章, 補章。
- (4) 平野光俊・江夏幾多郎(2018)『人事管理一人と企業、ともに生きるために』有斐閣。
- (5) ジョン・ブラットン, ジェフリー・ゴールド著, 上林憲雄他訳『人的資源管理—理論と実践—(第 3 版)』文眞堂, 2009 年。(John Bratton and Jeffrey Gold, *Human Resource Management: Theory and Practice*, 3rd edition, 2003.)
- (6) 藤本隆宏『生産マネジメント入門 I』日本経済新聞出版社, 2001 年, 第 3 章。
- (7) 藤本隆宏・西口敏宏・伊藤秀史編『サプライヤーシステム』有斐閣, 1998 年。
- (8) 原拓志・宮尾学編著『ベーシックプラス技術経営』中央経済社, 2017 年, 第 7 章, 第 9 章～第 11 章。
- (9) 藤本隆宏・クラーク K.B. 『【増補版】製品開発力—自動車産業の「組織能力」と「競争力」の研究』ダイヤモンド社, 2009 年。(Clark, K.B. & Fujimoto, T. *Product development performance: Strategy, organization, and management in the world auto industry*, Harvard Business School Press, 1991.)
- (10) ウォマック, J.P., ルース, D., ジョーンズ, D.T. 著, 沢田博訳『リーン生産方式が、世界の自動車産業をこう変える。—最強の日本車メーカーを欧米が追い越す日』経済界, 1990。(Womack, J.P., Jones, D. T., & Roos, D. *The machine that changed the world: The story of lean production*, Rawson Associates, 1991.)
- (11) F・アマトーリ, A・コリー著, 西村成弘・伊藤健市訳『ビジネス・ヒストリー—グローバル企業誕生への道程—』ミネルヴァ書房, 2014 年。(Franco Amatori & Andrea Colli, *Business History: Complexities and Comparisons*, Routledge, 2011.)
- (12) 安部悦生・壽永欣三郎・山口一臣・宇田理・高橋清美・宮田憲一『ケースブック アメリカ経営史 [新版]』有斐閣, 2020 年。

決 定 分 析

ゲーム理論の基礎的知識を問います。代表的な参考書には次があります。

- (1) Kreps, D., Microeconomic Foundation II: Imperfect Competition, Information, and Strategic Interaction, Princeton University Press, 2023.
 - Appx.9 Strategic-Form Games
 - Appx.10 Extensive-Form Games
 - Appx.11 Subgame perfection (and Credibility)
 - Appx.12 Beliefs and Sequential Rationality
 - Appx.13 Common Knowledge and Games of Incomplete Information
 - Appx.14 Forward Induction, Strategic Stability and Beliefs-Based Refinements
 - Ch.18 Cournot and Bertrand
 - Ch.20 Private Information Part I: One-shot Interactions
 - Ch.21 Private Information Part II: An Introduction to Dynamics
 - Ch.23 Bilateral Bargaining
 - Ch.24 Auctions
 - Ch.25 Matching Markets
 - Ch.26 Mechanism Design
- (2) Maschler, M., Solan, E., and Zamir, S., Game Theory, Second Edition, Cambridge University Press, 2020.
 - Ch.4 Strategic-form games
 - Ch.5 Mixed strategies
 - Ch.7 Equilibrium refinements
 - Ch.8 Correlated equilibria
 - Ch.9 Games with incomplete information and common priors
 - Ch.10 Games with incomplete information: the general model
 - Ch.12 Auctions
 - Ch.23 Stable matching

財 務 会 計

- (1) 桜井久勝『財務会計講義（第26版）』中央経済社、2025年。
- (2) 佐藤信彦・河崎照行・齋藤真哉・柴健次・高須教夫（編著）『スタンダードテキスト財務会計論Ⅰ（第18版）－基本論点編』中央経済社、2025年。
- (3) 佐藤信彦・河崎照行・齋藤真哉・柴健次・高須教夫（編著）『スタンダードテキスト財務会計論Ⅱ（第18版）－応用論点編』中央経済社、2025年。
- (4) Donald E. Kieso, Jerry J. Weygandt, and Terry D. Warfield. 2020. Intermediate Accounting IFRS 4th ed. Wiley.

あるいは、これらと同等の内容を含む財務会計・財務諸表論の教科書

会 計 制 度

- (1) 鈴木一水『税務会計分析－税務計画と税務計算の統合－』森山書店 2013。
- (2) 鈴木一水他『税務会計研究ハンドブック－EBPMのための理論・実証分析序説』同文館出版2024。
- (3) 橋本尚・山田善隆[2025]『IFRS会計学基本テキスト（第8版）』中央経済社、第2章第3-6

節、第3章第2, 4, 5, 6, 9, 11, 13, 14, 15節。

(4) 新日本有限責任監査法人 河野明史・腰原茂弘・田邊朋子編著[2016]『完全比較 国際会計基準と日本基準（第3版）』清文社、第4-5章、第9-11章、第13章、第16-22章、第25-28章、第39章。

(5) 企業会計審議会「監査基準(2020年11月改訂)」「財務報告に係る内部統制の評価及び監査の基準（2023年4月改訂）」「期中レビュー基準(2024年3月改訂)」「監査における不正リスク対応基準(2013年3月)」「監査に関する品質管理基準(2024年3月)」及びこれらの前文

(6) 伊豫田隆俊・松本祥尚・林隆敏『ベーシック監査論(九訂版)』同文館出版 2022 年。

管 理 会 計

(1) Horngren's Cost Accounting: A Managerial Emphasis 17th Edition Global Edition / Srikant M. Datar, Madhav Rajan : Pearson ,2020 ,ISBN:129236307X

(2) Merchant, K and W. Van der Stede, 2017. Management Control Systems 4th Edition (4th Edition), Pearson. (ISBN-10: 1292110554)

(3) F. G. H. Hartmann, k. Kraus, and G. Nilsson, Anthony, R. N., V. Govindarajan, 2020. Management Control Systems, 2e, McGraw Hill Higher Education, UK 版.
(ISBN-10: 1526848317)

マ ー ケ テ ィ ン グ

(1) 高嶋克義 『現代商業学（新版）』有斐閣、2012 年

(2) 高嶋克義 『現代マーケティング論』有斐閣、2008 年

(3) 鈴木安昭・田村正紀 『商業論』有斐閣、1980 年、第 2 章、第 5 章

(4) 丸山雅祥 『日本市場の競争構造』創文社、1992 年、第 2 章

(5) 風呂勉 『マーケティング・チャネル行動論』千倉書房、1968 年、第 4 章

(6) 高嶋克義 『マーケティング・チャネル組織論』千倉書房、1994 年、第 1 章、第 2 章

(7) 高嶋克義・南知恵子 『生産財マーケティング』有斐閣、2006 年、第 6 章

(8) 田村正紀 『マーケティング行動体系論』千倉書房、1971 年、第 1 章、第 2 章、第 4 章

(9) 池尾恭一他『マーケティング』有斐閣 New Liberal Arts Selection, 2010 年、第 4 章、第 6 章

(10) 栗木 契 『リフレクティブ・フロー』白桃書房、2003 年、第 3 章

(11) 小川 進 『イノベーションの発生論理』千倉書房、2000 年、第 1 章

(12) 石井淳蔵 『マーケティングの神話』岩波現代文庫、2004 年、第 6 章

(13) 南知恵子 『リレーションシップ・マーケティング』千倉書房、2005 年、第 1 章、第 5 章

(14) 黄 磷 『新興市場戦略論』千倉書房、2003 年、第 2 章

(15) Kotler, P., Keller, K, and Chernev, A, *Marketing Management*, Global Edition, 16th edition, 2021 **※KIMAP 学生は(15)の文献を参考にしてください。**

フ ァ イ ナ ン ス

Danthine, J., and Donaldson, J. B., *Intermediate Financial Theory* (3rd Edition), Academic Press, 2014, Chapter 1~14.

市 場 経 済 分 析

(1) Varian, H.R., *Microeconomic Analysis* (3rd ed.), Norton, 1992.

(2) 奥野正寛ほか、『ミクロ経済学演習 第2版』、東京大学出版会、2018年

第2群

数学的方法論

- (1) A. C. チャン、K. ウェインライト（著）、小田 正雄、高森 寛、森崎 初男、森平 爽一郎（翻訳）『現代経済学の数学基礎』[第4版]（上）（下） 4・5・7・8・9・11・12章、（シーエービー出版）, 2010年。
- (2) Rangarajan Sundaram, 『A First Course in Optimization Theory』 Chapter1・2・4・5・7・8 (Cambridge University Press), 1996.

統計的方法論

- 久保川達也、国友直人（2016）『統計学』東京大学出版会（14章を除く）
- 落海 浩・首藤 信通(訳), 2018, Rによる統計的学習入門, 朝倉書店（1-6章, ただしRのコードを覚える必要はない）
- Diez, D., Cetinkaya-Rundel, M., & Barr, C. (2019). OpenIntro statistics (4th ed.). OpenIntro.
- DeGroot, M. H., & Schervish, M. J. (2012). Probability and statistics (4. ed). Addison-Wesley. (12章を除く)
- James, G., Witten, D., Hastie, T., & Tibshirani, R. (2021). An introduction to statistical learning: With applications in R. Springer US. (1-6章, ただしRのコードを覚える必要はない)

定性的方法論

(1)

Saunders, M., Lewis, P., Thornhill, A., (2019), Research Methods for Business Students, Pearson Education Limited. ISBN-10: 1292208783

※KIMAP 学生は(1)の文献を参考にしてください。

(2)

◇テーマ	イントロダクション・社会研究方法の基礎
◇必読文献	・ Bernard, H. R. (2013), Social Research Methods: Qualitative and Quantitative Approaches, 2nd ed., Sage, Chs. 1-3. (特に Chapters 1-2)
◇参考文献	・ 戸田山和久『科学哲学の冒険－サイエンスの目的と方法をさぐる』NHK ブックス。 ・ Bryman, A. (2021), Social Research Methods, Oxford UP, Ch. 2. ・ Flick, U. (2023), An Introduction to Qualitative Research, 7th ed.

◇テーマ	実証主義的パースペクティブ
◇必読文献	・ Adorno, T. W., Albret, H., Dahrendorf, R., Harbermas, J., Pilot, H., Popper, K. (1969) Der Positivismusstreit in der Deutschen Soziologie, Hermann Luchterhad Verlag, GmbH. (城塚登・浜井修訳『社会科学の論理: ドイツ社会学における実証主義論争』河出書房新社、1979年、109-128頁。 ・ Hage, J. (1972) Techniques and Problems of Theory Construction in Sociology, John Wiley & Sons. (小松陽一・野中郁次郎訳『理論構築の方法』白桃書房、1978年。) 絶版につき配布、第1-4章。
◇参考文献	・ 富永健一 (1993) 『現代の社会科学者: 現代社会科学における実証主義と理念主義』講談社学術文庫。 ・ Chalmers, A. F. (2013) What is This Thing Called Science? [third edition], University of Queensland Press. (高田紀代志・佐野正博訳『改訂新版 科学論の展開』、2013年)

	・服部泰宏(2023)『組織行動論の考え方・使い方：第2版』有斐閣. 第3章, 第4章, 第5章, 第6章.
--	--

◇テーマ	解釈主義的パースペクティブ
◇必読文献	・M. ウェーバー(1998)『社会科学と社会政策にかかわる認識の「客観性」』岩波文庫 ・C. ギャーツ(1987)『文化の解釈学Ⅰ』岩波現代選書, 3-56 頁
◇参考文献	・三苫利幸(2009)『『価値自由』論の系譜：戦後ヴェーバー研究の展開と現代』『社会文化研究所紀要』第63号, pp. 19-42.

◇テーマ	構造主義的パースペクティブ
◇必読文献	・橋爪大三郎(1988)『はじめての構造主義』講談社現代新書。 ・渡辺二郎(1994)『構造と解釈』ちくま学芸文庫。第1、2、3、5章。 ・内田樹(2002)『寝ながら学べる構造主義』文春新書。
◇参考文献	・M フーコー(1977)『監獄の誕生』新潮社。 ・M フーコー(2000)『言葉と物』新潮社。 ・M フーコー(2006)『知の考古学』河出書房新社。

◇ テ ー マ	事例研究方法論 1
◇必読文献	・Eisenhardt, K. M. (1989). Building theories from case study research. Academy of Management Review, 14(4), 532-550. ・Siggelkow, N. (2007). Persuasion with case studies. Academy of Management Journal, 50(1), 20-24.
◇参考文献	・R. イン (1995)『ケース・スタディの方法』千倉書房。 ・高橋広行・徳山美津恵・吉田満梨 (2015)『ケースで学ぶケーススタディ』同文館出版。 ・栗木契 (2021)「事例に学ぶ知識獲得の有用性」『プレ MBA の知的武装』中央経済社、第3章。

◇ テ ー マ	事例研究方法論 2
◇必読文献	・Plowman, D. A., Baker, L. T., Beck, T. E., Kulkarni, M., Solansky, S. T., & Travis, D. V. (2007). Radical change accidentally: The emergence and amplification of small change. Academy of Management Journal, 50(3), 515-543. ・Gilbert, C. G. (2005). Unbundling the structure of inertia: Resource versus routine rigidity. Academy of Management Journal, 48(5), 741-763.
◇参考文献	・井上達彦(2014)『ブラックスワンの経営学』日経 BP 社、第2章・第3章。 ・R. イン (1995)『ケース・スタディの方法』千倉書房。 ・G. アリソン・F. ゼリコウ(2016)『決定の本質・第2版』日経 BP クラシックス。 ・Langley, A. (1999). Strategies for theorizing from process data. Academy of Management Review, 24(4), 691-710.

◇ テ ー マ	歴史的方法論 1
◇必読文献	・カルロ・マリア・チポッラ (2001)『経済史への招待：歴史学と経済学のはざまへ』国文社、第1-6章。
◇参考文献	・E. H. カー(1962)『歴史とは何か』岩波書店（岩波新書）。

◇ テーマ	歴史的方法論 2
◇ 必読文献	・アルフレッド D. チャンドラー, Jr. (著), 有賀裕子 (訳) 『組織は戦略に従う』, ダイヤモンド社, 2004 (原著: Alfred D. Chandler, Jr., <i>Strategy and Structure</i>, 1962.), 序, 第 1 章。 ・アルフレッド D. チャンドラー, Jr. (著), 鳥羽欽一郎, 小林袈裟治 (訳) 『経営者の時代: アメリカ産業における近代企業の成立』, 東洋経済新報社, 1979 (原著: Alfred D. Chandler, Jr., <i>Visible Hand: The Managerial Revolution in American Business</i>, Berknap Pr., 1970), 序論。 ・Philip Scranton and Patrick Friedenson, <i>Reimagining Business History</i>, Johns Hopkins UP, 2013 (フィリップ・スクラントン, パトリック・フリダンソン 『経営史の再構築』 蒼天社出版, 2017 年), 第 I 部。
◇ 参考文献	・黒沢隆文・久野愛(2018)「経営史研究の方法・課題・存在意義—英語文献における研究動向と論争— (上)・(下)」経営史学、第 53 巻第 2 号、第 53 巻第 3 号。

◇ テーマ	グラウンデッドセオリー・アプローチ
◇ 必読文献	・K. シャーマズ(2020)『グラウンデッド・セオリーの構築』[第 2 版] ナカニシヤ出版 ・B.G. グレイザー・A.L. ストラウス(1996)『データ対話型理論の発見：調査からいかに理論をうみだすか』新曜社
◇ 参考文献	・Apramian, T., Cristancho, S., Watling, C., & Lingard, L. (2017) “ (Re)Grounding grounded theory: a close reading of theory in four schools,” <i>Qualitative Research</i>, 17(4), 359–376. ・A. ストラウス・J. コービン(2012)『質的研究の基礎：グラウンデッド・セオリー 開発の技法と手順(第 3 版) 医学書院

◇ テーマ	サーベイ・リサーチ方法論
◇ 必読文献	・盛山和夫 (2004) 『社会調査法入門』有斐閣ブックス, ISBN:978-4641183056, 4 章 (p.61-77), 5 章 (p.79-94), 7 章 (p.115-139) ・田村正紀 (2006) 『リサーチ・デザイン』白桃書房, ISBN: 978-4561264576, 2 章 (p.25-48)
◇ 参考文献	・伊藤公一朗 (2018) 『データ分析の力 因果関係に迫る思考法』光文社新書, ISBN:978-4334039868 ・Grove, R.M., Flower, F.J.Jr., Couper, M.P. Lepkowski, J.M., Singer. E., & Tourangeau, R. (2009). <i>Survey Methodology</i> (2nd ed.). Hoboken, NJ: John Wiley & Sons. ISBN:978-0470465462

◇ テーマ	フィールド・リサーチ方法論
◇ 必読文献	・Greenwood, D. “Introduction to Action Research, <i>Social Research for Social Change</i>, 2nd ed., SAGE Publications, 2007. の pp. 3-34, 76-88. ・三矢裕 (2007) 「日次決算導入がもたらす組織行動への影響：株式会社ドンクにおけるアクションリサーチ」『原価計算研究』第 31 巻第 1 号、1-13 頁。
◇ 参考文献	・三矢裕 (2002) 「管理会計システムの導入研究の方法論：トライアンギュレーションとアクションリサーチの有効性」『会計』第 161 巻第 5 号、96-109 頁。

	• Kaplan, R. S. (1998), Innovation Action Research: Creating New Management Theory and Practice, <i>Journal of Management Accounting Research</i>, 10(1) pp.89-118.
--	---

◇ テーマ	定性的研究と研究論文
◇ 必読文献	• Julie Battilana and Silvia Dorado. (2010), "Building Sustainable Hybrid Organizations: The Case of Commercial Microfinance Organizations", <i>Academy of Management Journal</i>, Vol. 53, No. 6, pp. 1419-1440.
◇ 参考文献	• Bryman, A. (2016), <i>Social Research Methods</i>, 5th ed., Oxford University Press, Chapter17. • デンジン&リンカン(2006)『質的研究ハンドブック』（第1～3巻）北大路書房。